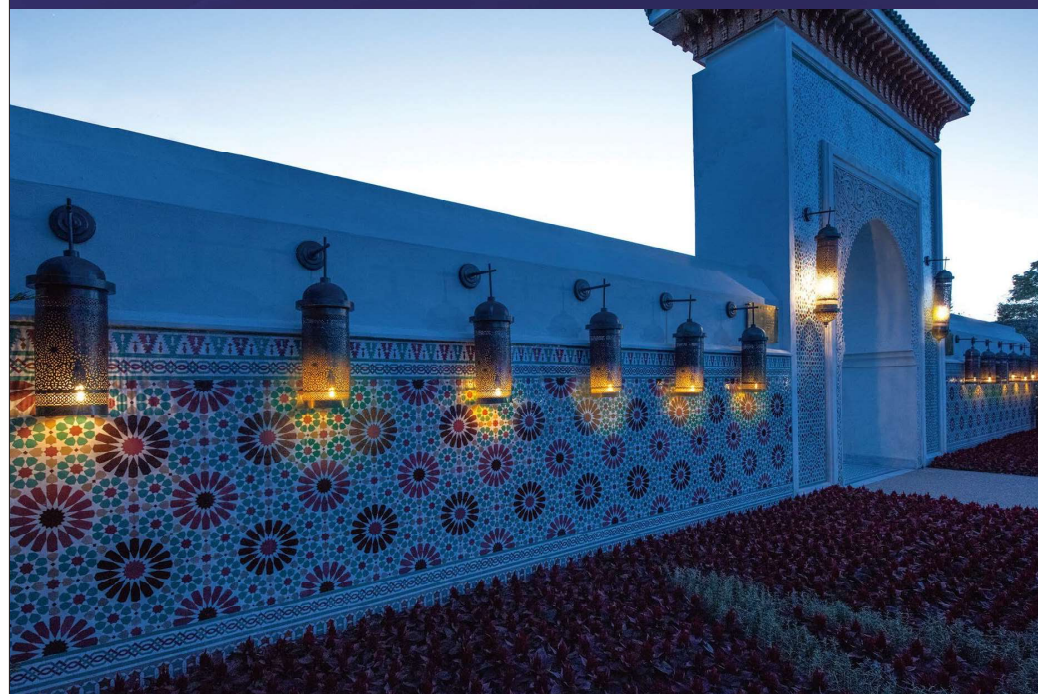




世界に誇る、バラと花々の大庭園
ぎふワールド・ローズガーデン

モロッコガーデン

～モロッコの香りと彩りに出会う庭～



◆ ご挨拶

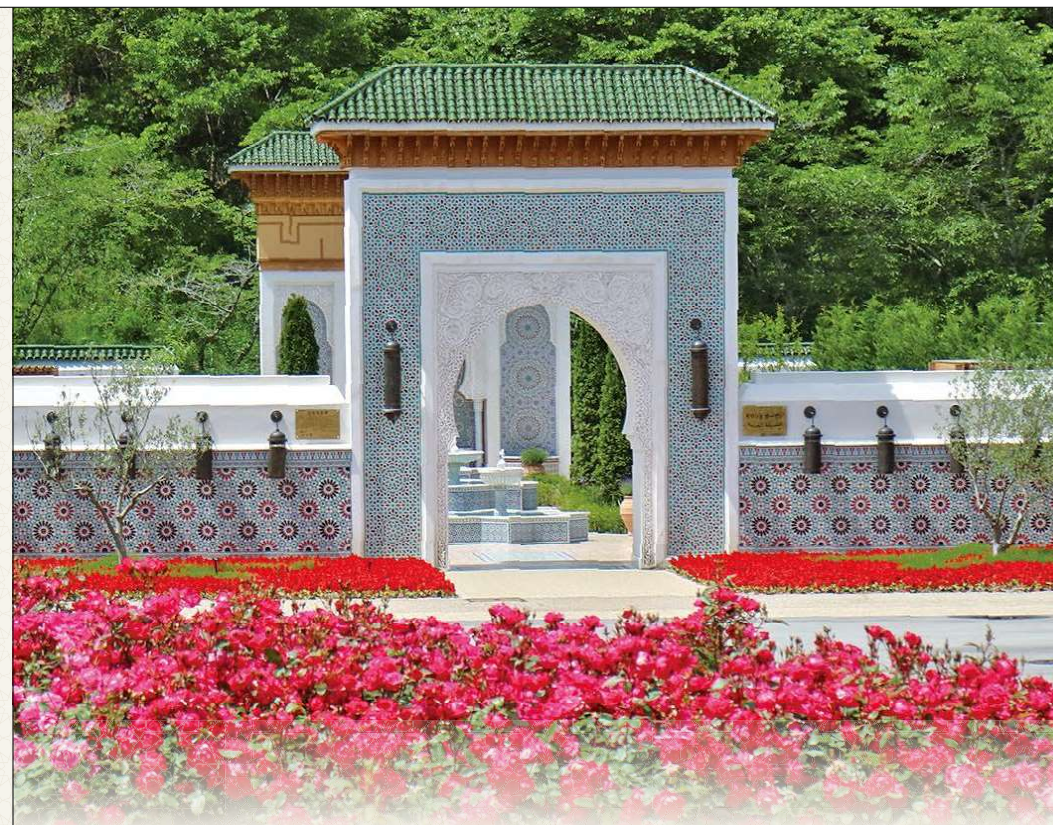


岐阜県知事
古田 肇

この庭園は、モロッコと日本を結ぶ友好と親密な絆の象徴です。自然の美しさとモロッコの伝統芸術が融合した特別な空間は、安らぎと静寂に満ちた場所です。この庭園が私たちの出会いの場となり、分かち合いの場となり、私たちの文化と民族の架け橋となることを願っています！



駐日モロッコ王国特命全権大使
ラシャッド・ブフラル



INDEX

モロッコガーデンとは	P.3
モロッコガーデンの見どころ	P.5
モロッコガーデン整備に関わった技術者たち	P.15
モロッコガーデン整備の作業風景	P.17
モロッコ王国と岐阜県との友好交流の歴史	P.21
モロッコ王国の紹介	P.23
ぎふワールド・ローズガーデンのご案内	P.25

モロッコガーデンとは

モロッコ王国の芸術と文化をあますことなく表現し、美を集結した庭園です。

ホスピタリティの象徴であるゲートが皆様をお迎えし、静寂と束の間の旅へと誘います。

足元には床面タイルのベジュマットが敷き詰められ、色とりどりの花壇の間には水路が通っています。

庭園の中心には装飾が施された噴水があり、王宮のオアシスを彷彿させる癒しの空間を作り出します。

細かく複雑なモチーフが描かれたモザイクタイルのゼリージュは、その細部に至るまでモロッコの伝統的な庭園を思い起こさせてくれます。

モロッコガーデンは、癒しの場であると同時に、古代から生き続ける豊かなモロッコ文化を見出す場でもあります。

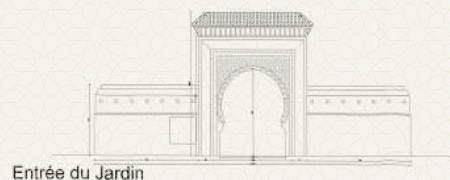
モロッコガーデンの特徴は以下のとおり。

- ・ 周囲が囲われていること
- ・ 方形で左右対称の空間であること
- ・ 規則正しく水路が配置されていること
- ・ 香り高く、色鮮やかな樹木や草花が植えられていること



モロッコガーデンの見どころ

正面ゲート



荘厳な門は伝統と美が調和したモロッコ庭園へと私たちを招き入れてくれます。

用いられている伝統技術

■木工細工



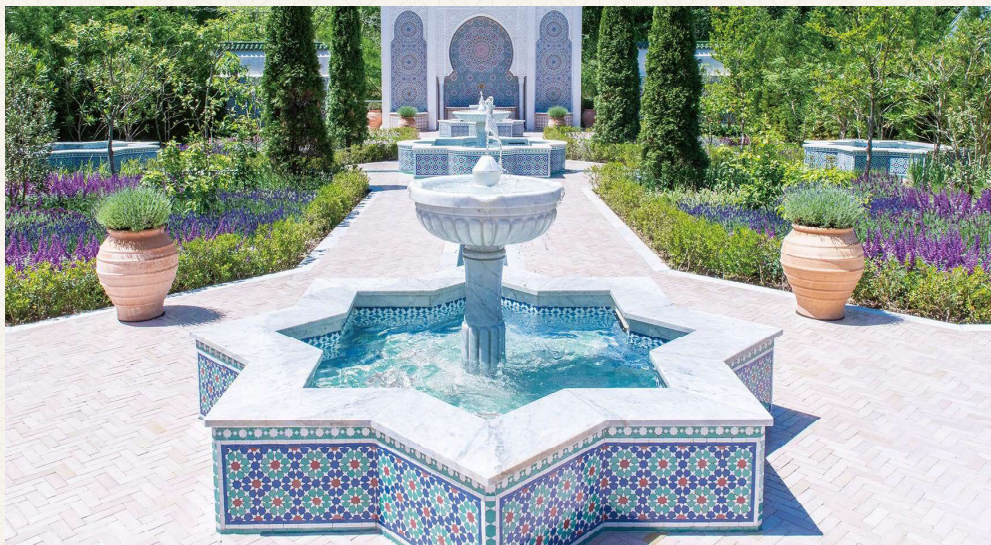
軒下の装飾は、最高品質と定評のあるアトラス山脈の杉に彫刻を施したものです。

■瓦



瓦は、半円形の素焼きの陶器に鮮やかな緑の釉薬をかけて焼いたものです。色彩豊かなタイルと植物に馴染む色合いで、調和のとれた空間を作り出しています。

噴 水



十字に配置された噴水は、モロッコ庭園には欠かせない要素の1つです。水のせせらぎに癒されながら、静かな心で時間を過ごします。

パーゴラ(格子状の日陰棚)



パーゴラの下にはベンチが置かれ、強い日差しを避けながら花々の優しい香りを楽しむことができます。

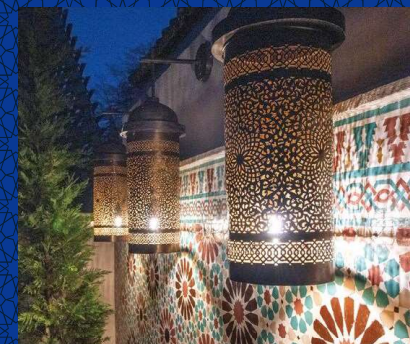
用いられている伝統技術

■ベジュマット



床面のタイルであるベジュマットには、モロッコ陶器の一大産地であるフェズの陶土が使用されています。優しい色味のベージュを選ぶことで、装飾タイルのゼリージュを引き立てています。

■真鍮細工



ゲートに連なる壁面のほか、園内にも数か所取り付けられているランプは真鍮製で、細かい透かし彫りが幻想的な灯りを作り出します。

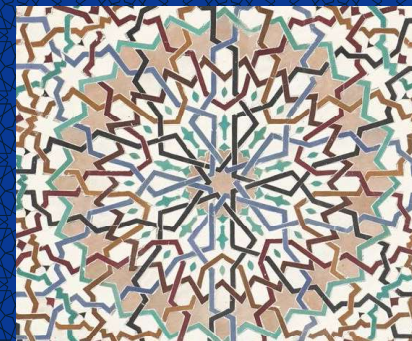
壁 泉



壁から水が流れ出る壁泉の音色は人々の生活の一部であり、庭に爽やかさを加える建築の至宝です。

用いられている伝統技術

■ゼリージュ



緻密さと鮮やかな色彩が目を引くモザイクタイルのゼリージュは、何世紀にもわたる職人技が光る芸術作品です。モスクの外壁や内装など、様々なところに使われています。

■石膏細工



精緻に彫り込まれた石膏は、色鮮やかなゼリージュと相まって優美さを創出しています。ディテールの細かさからもその芸術性の高さが推し量れます。

植 栽



植栽アドバイザー
地理学博士・景觀設計家
MBpaysage 代表
ムニア・ベナニ氏

エントランスの前では、オリーブの木とモロッコの国旗を表す星が、皆様をお迎えし庭園へと誘います。

庭園に入っすぐ、オリーブの木の下に広がるバラの絨毯は、モロッコ王国と、ぎふワールド・ローズガーデンの出会いを表現しています。

モロッコの伝統的な邸宅(リアド)に見られるアラブ・アンダルシアの庭の特徴な要素を忠実に取り入れた景觀造りをしました。周囲を囲われ、安心でき、木陰があり、香り高く色鮮やかな花が咲く庭園です。

まず、庭が「囲われている」ことが非常に重要です。レイランディの高い生垣が庭を外界から切り



■モロッコ王国の国旗をイメージした植栽

離し、人目を気にせず散策するための空間を作り出します。また、風や日差しからも庭を守ってくれます。

モロッコの伝統的な庭のもう1つの特徴は、左右対称であることです。

メイン通路の両側に左右対称に木々を配置することで中央の眺望を強調し、庭全体の構図を際立たせています。

そのため、モロッコと同じように、空間を高・中・低の3つの層に分けました。

「高層部」は、庭を縁取るように垂直に伸びる針葉樹のレイランディ、「中層部」は、モロッコ庭園で一般的に見られる果樹(ダイダイ、レモン、オリーブなど)で構成されています。

「低層部」には、ブルー、薄紫、ピンクや白の芳香植物や花が広がります。

薄紫や白いラベンダー、青色のセージ、薄緑のレモングラス、白いガウラなどが地中海の風景を思わせるさまざまな香りと質感で空間を満たしています。

ガーデン中央の噴水の周囲には、4本の針葉



■高い生垣(針葉樹のレイランディ)に囲われ左右対称な庭の構成



■オリーブの木の下に広がるバラの絨毯



■低層部に配置された植物(ガウラ)

樹が植えられています。まっすぐにひと際高く伸びるスエシカはモロッコの庭園に使われるイトスギと同様に大地と空の結びつきを象徴しています。

最後に、植物はモロッコや地中海の庭園を代表するものの中から、岐阜の気候に適應するものを選びました。樹木や草花は、冬の寒さに強く、夏の暑さや湿度にも耐久性のあるものを優



■中層部に配置された果樹(レモン)



■大地と空の結びつきを象徴する針葉樹

先しました。

植物の種類は基本的に多年草とし、冬が過ぎても植え替えをすることなく、花を咲かせ成長を続けることができます。

「モロッコを存分に感じながら、楽園の庭が放つ様々な彩りと香りをご堪能ください。」

ムニア・ベナニ

四季の移ろい



春
Spring



夏
Summer



秋
Autumn



冬
Winter

モロッコガーデン整備に関わった技術者たち



■2022年4月、モロッコ王国の伝統技術を受け継ぐ熟練の技術者10名と建築家が来日し、約50日間にわたり施設整備

(左から順に)

NOUR-EDDINE EL ADERISSI
MOHAMMED ABDELLAOUI MAAN
KACEM MNIACH
ABDESLAM KACHABI
SAID BENADIBA
MOHAMMED MISSOURI IDRISSE
岐阜県知事
MOHAMED LAOUINATE
駐日モロッコ王国特命全権大使
MOHAMMED BENADIBA
HASSAN JEMGHILI
TAHAR RAQIB
MOHAMED TARIK

ヌールディーン・エル アダリ
モハメッド・アブデラウイヌーン
カセム・ムニアシュ
アブデスラム・カシャビ
サイッド・ベナディバ(親方)
モハメッド・ミスリ イドゥリシ
古田 肇
モハメッド・ラウイナット
ラシャッド・ブフラル
モハメッド・ベナディバ(建築家)
アサン・ジウムリ
タハール・アキブ
モハメッド・タリック



■2023年4月、モロッコ王国から来日した著名な景観設計家による監修のもと、植栽を整備

(右から順に)

駐日モロッコ王国特命全権大使 ラシャッド・ブフラル
景観設計家 ムニア・ベナニ
岐阜県知事 古田 肇

ムニア・ベナニ氏の略歴

学 歴：ヴェルサイユ国立高等景観学校卒業

国立社会科学高等研究院(EHESS)地理学博士

職 歴：2006年 ラバトに景観デザイン事務所設立

2010年 モロッコランドスケープアーキテクト協会設立

国際造園家連盟会員

著 書：「Villes-paysages du Maroc(モロッコの都市風景)」(2017年)

※ 同書はフランスのRedouté賞「審査員特別賞」受賞(2018年)

モロッコガーデン整備の作業風景



瓦を並べる作業



木工細工の
取り付け作業



石膏に模様を
施す作業



左官作業



ゼリージュ
(モザイクタイル)の
組み合わせ作業





噴水に大理石の板を取り付ける作業



ベジュマツト
(床面タイル)の
貼り付け作業



壁泉にゼリージュ
(モザイクタイル)を
貼り付ける作業



噴水にゼリージュ
(モザイクタイル)を
貼り付ける作業



植物選定と配置

モロッコ王国と岐阜県との友好交流の歴史

2005年

- 世界イベント村ぎふ秋まつり'05で「クスクス・モロッコ王国」を展示(10月)
「愛・地球博」のモロッコ王国パビリオンの展示品や特産品を映像資料とともに展示
- 「ぎふ・モロッコ王国同好会」(会長:山田實紘 社会医療法人厚生会 理事長)の設立(10月)
- 古田知事がアラウィー王朝勲章を受章(11月)

2007年

- 岐阜県とウジュダ・アンガット府との友好交流に関する覚書を締結(8月)
モロッコ王国の地方政府として初めて日本の自治体と友好交流を結ぶ

2008年

- 花フェスタ記念公園(現・ぎふワールド・ローズガーデン)内に、モロッコ・ロイヤルローズガーデン オープン(10月)
- 山田實紘 ぎふ・モロッコ王国同好会会長がアラウィー王朝勲章を受章(12月)



山田会長、
在岐阜モロッコ王国名誉領事就任(2018)

2019年

- 岐阜県とモロッコ王国手工芸庁とのモロッコ・ロイヤルローズガーデン改修に係る覚書を締結(11月)
モロッコの資材と技術を用い、伝統的なモロッコの庭園へと改修を進めることで合意

2023年

- モロッコガーデンの植栽整備(4月)

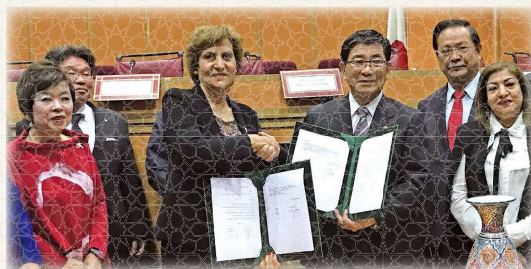
2018年

- 在岐阜モロッコ王国名誉領事の就任(3月)
山田實紘 ぎふ・モロッコ王国同好会会長が、東海地区で初となる、在岐阜モロッコ王国名誉領事に就任
- 岐阜県とマラケシュ=サフィ州との友好協力に関する覚書締結(4月)
モロッコ王国有数の観光地である同州と、日本の自治体として初めて友好交流の覚書を締結
- 在岐阜モロッコ王国名誉領事館開館(11月)
美濃加茂市内に名誉領事館を開館

2022年

- モロッコ・ロイヤルローズガーデンの改修(5月～6月)
モロッコ王国から技術者10名が来日し、改修工事を実施
- モロッコガーデン オープン(10月)
寛仁親王妃信子殿下の御臨席を仰ぐとともに、モロッコ王国からファティマ・ザハラ・アンモール観光・手工芸・社会連帯経済大臣、ラシャッド・ブフラル駐日モロッコ王国特命全權大使、タリック・サディック手工芸庁長官、アデル・エル・ファキール観光庁長官が出席
- モロッコヴィレージの開催(10月)
モロッコ王国手工芸庁がぎふワールド・ローズガーデンにて本場モロッコの市場を再現したイベントを開催

マラケシュ=サフィ州との
友好協力に関する覚書締結
(2018)



モロッコガーデンの
オープニングセレモニー(2022)



モロッコ王国の紹介

モロッコ王国

アフリカ大陸の最北西に位置するモロッコ王国の面積は、およそ710,800 km²(※)。

ラバトを首都とするモロッコは、歴史を通じて多くの文化が交わり、豊かな歴史と文化の多様性を誇っています。

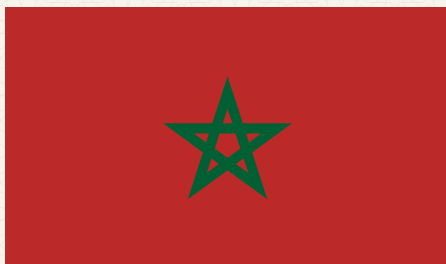
モロッコ経済は多角的で、工業、農業、貿易が盛んです。観光もモロッコ経済の重要な部門であり、歴史的な都市やビーチ、雄大な自然景観で観光客を魅了しています。

悠久の歴史と活気に満ちた文化を持つモロッコは、訪れる人々に忘れられない体験を提供しています。

※駐日モロッコ大使館提供



■国章



■国旗

手工芸の紹介

革細工



■レザー製品（鞆、箱など）



■バブーシュ

先祖代々受け継がれてきたモロッコの革職人の技は、独特のなめし技術によって特徴づけられ、丈夫でしなやかな高品質の革を生み出します。モロッコの職人たちは、この素材をバッグやバブーシュ、装飾が施された腰掛など、実用的でエレガントな芸術作品に変身させます。

陶器

色鮮やかなデザインが特徴的なモロッコの陶器は、この国の主要な伝統工芸のひとつです。熟練した職人による手作りで、ベルベル、アラブ、アンダルシアの影響が見事に融合しています。



■お皿やタジン鍋などの食器

絨毯

モロッコの絨毯は、16世紀に遊牧民が絨毯を織り始めたことを機に今日までモロッコの伝統技術として受け継がれてきました。その種類は様々で、地域の部族の名前に由来し、独自のスタイル、色、デザインを誇っています。



■細かいモチーフが施された絨毯

ぎふワールド・ローズガーデンのご案内

- 入園料金** 無料～1,050円(ローズフェスティバル期間は1,050円)
※開花状況により年間料金で変動します。HPをご覧ください。
- 開園時間** 9:00～17:00(最終入園は16:30/季節により変動有り)
- 休園日** 火曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始
- 高校生以下は無料
 年間パスポート:お一人様3,000円
- 駐車場** 無料(大型車駐車可) 駐車場…通年ご利用いただけます。



GIFU WORLD ROSE GARDEN
 世界に誇る、バラと花々の大庭園
ぎふワールド・ローズガーデン

〒509-0213 岐阜県可児市瀬田1584-1
 TEL:0574-63-7373 FAX:0574-63-7374



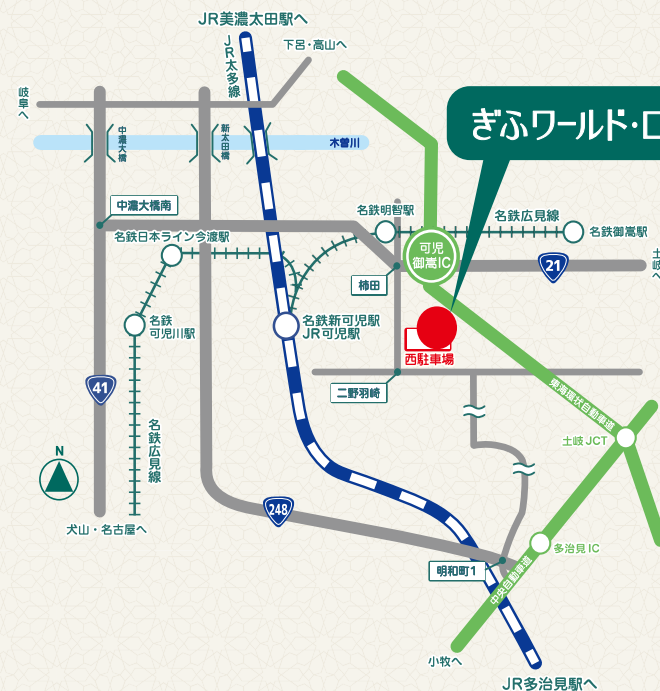
ぎふワールド・ローズガーデン HP



モロッコガーデン整備
 (映像紹介)

R6.6 作成

交通アクセス



東海環状自動車道
 可児御嵩ICから車で約5分

中央自動車道
 多治見ICから車で約20分

岐阜・大垣方面から
 (岐阜から車で約60分)

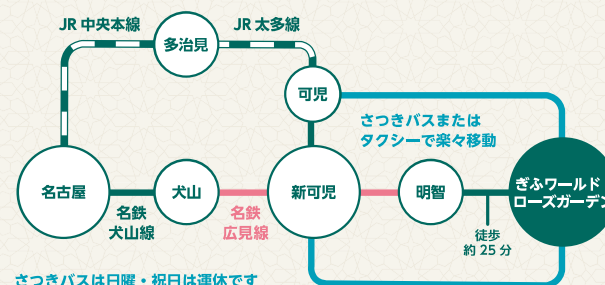
名古屋方面から
 (名古屋から車で約60分)

JR「可児駅」・名鉄「新可児駅」
 さつきバス ----- 200円

タクシー/12分 --- 約2,000円

名鉄広見線「明智駅」
 徒歩約2km ----- 約25分

タクシー/5分 --- 約1,000円



さつきバスは日曜・祝日は運休です

26